

報告事項 平成30年度事業計画及び収支（損益）予算について

平成30年度事業計画

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

前年度事業内容を踏襲し、事業の効率化を図る。各事業計画の詳細並びに収支（損益）予算は以下のとおりである。

1 植物検疫に関する啓蒙及び普及

- (1) 植物検疫関係法令・通達等の配布及び周知徹底
- (2) 植物検疫に関する照会に対する対応
- (3) 植物検疫に関する広報誌等の配布

2 植物検疫の受検・立会等

(1) 検査案内・立会等

	30年度計画 輸入数量（消毒）	前年度実績 輸入数量（消毒）	前年度比 輸入（消毒）
輸出入検査手続・案内立会等	千 t	千 t	%
穀 類	1,959 (125)	2,026 (144)	96.7 (86.8)
麦 類	1,204 (30)	1,215 (31)	99.1 (96.8)
油糧用（大豆・ナタネ）	477 (75)	501 (98)	95.2 (98.7)
その他（とうもろこし等）	268 (20)	311 (15)	86.2 (100)
木 材	40 (40)千 m3	39 (39)千 m3	103 (103)
コンテナ	15 VAN	13 VAN	115
輸出貨物	57 件	50 件	114

(2) 輸入植物検疫関係書類等の作成及び指導

- (3) 輸出こん包材消毒証明書及びアジア型マイマイガ不在証明書の発給並びに輸出こん包材産者等への指導

3 植物検疫に関する情報及び資料等の収集

- (1) 植物防疫所千葉出張所等関係官庁・団体との情報交換
- (2) 全植検協及び各地域植物検疫協会との情報・資料交換
- (3) 検疫くん蒸剤の再評価に関する情報及び資料の収集、整理並びに関係者への提供

4 植物検疫に関する官公署及び関係団体との連絡協調

- (1) 植物防疫所千葉出張所、千葉県及び全植検協等が主催する説明会・研修会への参加
- (2) 関係団体等が主催する講習会等への参加

5 輸出先国の規制に対応するための輸出サポート体制整備委託事業に係る対応

6 植物検疫くん蒸安全旬間及び植物検疫くん蒸倉庫等への対応

- (1) 植物検疫くん蒸安全旬間（11月1日～10日）の活動を支援
- (2) 植物検疫くん蒸倉庫等及び輸入木材消毒実施区域の確認

## 報告事項

## (1)平成30年度 収支(損益) 予算

(単位：円)

科 目	合 計		差 異 (ア)－(イ)
	予算額(ア)	前年度予算額(イ)	
<b>I 正味財産増減計算の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益	0	100	△ 100
②受取会費	2,850,000	2,760,000	90,000
通常会費	2,340,000	2,340,000	0
臨時会費	510,000	420,000	90,000
③事業収益	29,949,000	30,820,000	△ 871,000
穀類検査関係収益	25,467,000	26,650,000	△ 1,183,000
木材検査関係収益	440,000	440,000	0
コンテナ関係収益	40,000	70,000	△ 30,000
穀類消毒関係収益	1,040,000	1,040,000	0
木材消毒関係収益	500,000	440,000	60,000
輸出検査関係収益	300,000	350,000	△ 50,000
こん包材消毒関係収益	1,800,000	1,800,000	0
マイマイガ証明収益	0	0	0
全植検協委託事業収益	200,000	0	200,000
指定審査等関係収益	162,000	30,000	132,000
④雑収益	450,800	400,400	50,400
受取利息	800	400	400
還付消費税等	450,000	400,000	50,000
経常収益計 A=①+②+③+④	33,249,800	33,980,500	△ 730,700
(2) 経常費用			
①事業費	24,875,400	29,237,040	△ 4,361,640
給料手当	15,200,000	19,200,000	△ 4,000,000
退職金共済	497,700	620,940	△ 123,240
退職給付費用	316,000	300,200	15,800
福利厚生費	3,120,000	3,320,000	△ 200,000
会議費	36,000	36,000	0
旅費交通費	176,000	176,000	0
通信運搬費	203,000	196,000	7,000
広報費	48,000	48,000	0
什器備品減価償却費	0	0	0
車輛運搬用具減価償却費	117,000	117,000	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	144,000	160,000	△ 16,000
修繕費	154,000	126,000	28,000
印刷費	160,000	160,000	0
燃料費	135,000	135,000	0
光熱水道費	208,000	192,000	16,000
新聞図書費	35,000	70,000	△ 35,000
賃貸料	3,150,000	3,150,000	0
清掃料	28,800	42,400	△ 13,600
交際費	120,000	120,000	0
諸謝金	0	0	0
保険料	202,400	243,000	△ 40,600
租税公課	112,000	112,000	0
負担金	552,500	552,500	0
雑費	160,000	160,000	0

科 目	合 計		差 異 (イ) - (フ)
	予算額(フ)	前年度予算額(イ)	
②管理費	7,680,600	8,761,960	△ 1,081,360
給料手当	3,800,000	4,800,000	△ 1,000,000
退職金共済	132,300	165,060	△ 32,760
退職給付費用	84,000	79,800	4,200
福利厚生費	780,000	830,000	△ 50,000
会議費	264,000	264,000	0
旅費交通費	44,000	44,000	0
通信運搬費	87,000	84,000	3,000
広報費	12,000	12,000	0
什器備品減価償却費	0	0	0
車輛運搬用具減価償却費	13,000	13,000	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	36,000	40,000	△ 4,000
修繕費	66,000	54,000	12,000
印刷費	40,000	40,000	0
燃料費	15,000	15,000	0
光熱水道費	52,000	48,000	4,000
新聞図書費	15,000	30,000	△ 15,000
賃貸料	1,350,000	1,350,000	0
清掃料	7,200	10,600	△ 3,400
交際費	80,000	80,000	0
諸謝金	550,000	550,000	0
保険料	27,600	27,000	600
租税公課	88,000	88,000	0
負担金	97,500	97,500	0
雑費	40,000	40,000	0
経常費用計 B=①+②	32,556,000	37,999,000	△ 5,443,000
当期経常増減額 C=A-B	693,800	△ 4,018,500	4,712,300
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計 D	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用 E	0	0	0
当期経常外増減額 F=D-E	0	0	0
当期一般正味財産増減額 G=C+F	693,800	△ 4,018,500	4,712,300
一般正味財産期首残高	39,242,688	39,743,251	△ 500,563
一般正味財産期末残高 H	39,936,488	35,724,751	4,211,737
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高 I	0	0	0
III 正味財産期末残高 J=H+I	39,936,488	35,724,751	4,211,737

(注) 借入金限度額 500万円

1P